

|           |            |
|-----------|------------|
| 講義名       | 研究演習       |
| 講義コード     | 25046      |
| 担当教員      | 辻本 千春      |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 5時限 |
| 備考        |            |

|           |
|-----------|
| ゼミ        |
| 辻本ゼミ      |
| 学部        |
| 全学部       |
| 学科        |
| 全学科       |
| 演習名       |
| 観光マネジメント論 |

## 概要説明

今、観光が重要視されています。少子高齢化がすすむ日本においては、観光は産業としても、人を集客したり定住させたりするシステムとしても評価されています。研究演習 では、観光をマネジメントの視点から理論としてみるだけでなく、実際に観光に関わる事象の課題に触れて、それをいかに解決するかを考えるゼミを目指します。また、いろいろなか情報提供を行いますので、ゼミとしてのメインのプロジェクト以外にもぜひ積極的に参加してください。

- 2018年度の研究演習 では、2つの『社会共創』プログラムに挑戦しました。
1. 大阪府・大阪市IR推進局主催「大学生の考えるIR」
  2. 神戸商工会議所主催「スポーツ産業コンペティション」の2つです。

ゼミでは、外部講師を依頼して講義を願ったり、昨年11月には、IRの候補地である大阪・夢洲を視察して、MICEの拠点の一つであるインテックス大阪を視察し、関係者とテイスカッションを行いました。

この研究演習 では、産学連携として真生印刷株式会社さんとともに、地域振興、まちづくりにつながる製作物を造る、観光×モノづくりを実践する予定です。

また、日本観光研究学会関西支部の関連するNPO観光力ネットワーク関西「学生連絡協議会」では関西の7～8校の大学の学生が中心となり、まちづくりや地域振興、あるいは研修旅行を企画しており、その組織のメンバーになって他大学の学生と企画したり、そのイベントに参加する（任意）こともできます。

- たとえば
- ・6月上旬（予定）城崎温泉体験
  - ・8月下旬（予定）城崎インターンシップ（旅館マネジメント研修と課題解決発表会）
  - ・タイ国政府観光庁やグアム政府観光局との共同プロジェクト（計画中）
- など

研究演習 では、研究演習 の経験をもとに、フィールドに出て観光×モノづくりに挑戦します。さらに、できるだけ学外の人に会う機会を設定して社会人の心構えも学んでいきます。

履歴書に書けるプロジェクトやプレゼン体験を楽しく実行しましょう。

|   |
|---|
| 所属  |
| 人間社会学部 観光学科   |
| 所属学会  |
| 日本観光研究学会（理事）<br>日本観光研究学会関西支部（幹事）<br>日本国際観光学会<br>国際観光医療学会（社員）  |
| 専門分野  |
| 観光マネジメント、観光によるまちづくり、ニューツーリズム（スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム）、国際観光（インバウンド） |
| 選考方法  |
| ・面接を重視します。<br>・個別ガイダンスには必ず参加してください。                           |
| 担当科目  |
| 企業論特別講義（サービス業）<br>リゾート論、地域・都市集客論、観光政策論、観光学原論、観光学へのいざない        |
| 備考  |
| （土）（日）にプロジェクト活動をすることもあります（早目に予定します）し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。  |
| 評価方法  |
| ・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。                      |

|         |
|---------|
| 学位      |
| 博士：創造都市 |

|   |
|---|
| 教員よりの要望   |
| やる気がある学生と一緒にやりたいと思います。面接を行いやる気を判断します。   |
| 2年生は重要な時期です。問題解決型演習として、地域を元気にするために楽しくフィールドワーク（調査・ヒアリング）を行い、そのプロセスや研究結果を発表しましょう。いろいろなか人に会うことも重要であり、視察や会社訪問も行う予定です。人間形成をしながら卒業後のキャリアも視野に入れて前進しましょう。   |
| また、2年生以上が受講できる2019年度後学期「企業論特別講義（サービス業）」はぜひ受講してください。ホスピタリティ・ツーリズム関連の企業トップ、役員の方々が、ツーリズム、旅館経営、シェアリングエコノミー、航空関連産業（空港経営、航空会社、ハンドリング会社など）、医療法人と多彩な企業、組織の方が今求められていること、これからの将来のことを熱く講義していただきます。特に観光に関わるインバウンドの動向について詳しく知ることができます。 |

|                   |
|-------------------|
| 教員英字氏名            |
| Tsujimoto Chiharu |

|      |
|------|
| 研究室  |
| 5421 |

|                          |
|--------------------------|
| 最終学歴                     |
| 大阪市立大学大学院創造都市研究科後期博士課程修了 |

|  |
|--|
| 主な研究活動・社会活動・研究業績   |
| 研究活動<br>・研究テーマは「観光によるまちづくり」「地域活性化」です。特に、メディカルツーリズム、ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム等のニューツーリズムや「インバウンド」による地域活性化を研究しています。現在はオルレ、「濱州オルレ」、「九州オルレ」について調査研究しています。  |
| 社会活動<br>・泉佐野りんくう国際観光振興協議会 理事<br>・泉佐野市観光推進プロモーション協議会 理事<br>・日本観光研究学会 理事、関西支部 幹事<br>・京都府スポーツ観光推進プラットフォーム アドバイザー<br>・大分県竹田市 竹田市観光振興 アドバイザー など   |
| 研究業績（著書 / 論文）<br>・「入門観光学」、共著、平成30年4月、ミネルバ書房、担当：第15章「メディカルツーリズム」<br>・「観光学入門」、共著、平成29年3月、見洋書房、担当：第3章「国際観光学概論」<br>・「地域創造のための観光マネジメント講座」、共著、平成28年11月、学芸出版社、担当：第4章「ヘルスツーリズムと地域創造」<br>・「一からの観光事業論」、共著、平成28年3月、中央経済社、担当：第15章「地域のインバウンド事業」九州における訪日外国人誘客プロジェクト「九州オルレ」<br>・「都市構造と都市政策」、共著、平成26年4月、古今書院、担当：第21章「医療・福祉とまちづくり」<br>・「ヘルス/メディカル・ツーリズムによる観光地構造転換と地域活性化に関する研究 温泉地/旅館の高付加価値化による再生」、平成26年3月、単著、博士学位論文                 |
| 主な卒業論文のタイトル  |
| 今まで指導した卒業論文一例<br>・漂海民族バジャウ族の発展 サスティナブル・ツーリズムから見たセブ島に住むバジャウ族の変化<br>・SNSによる新しい旅の形 マンホールの蓋が生み出す観光の力<br>・三重伊賀市における伊賀流忍者の観光の位置づけ<br>・訪日中国人観光客の消費動機の変化と今後のインバウンド観光について<br>・激動の観光業界がもたらす共有経済 - 共有経済の核Airbnbの研究を中心に -<br>・2.5次元演劇のコンテンツ・ツーリズム化について - 2.5次元演劇のツーリズムにおける立ち位置 -<br>・観光におけるSNSマーケティングの重要性 - 心理学的観点から見る「インスタ映え」の現実<br>・訪日外国人観光客と日本人から親しまれるゲストハウスの提案 - 自身の夢をゲストハウスに託して -<br>・韓国観光政策に関する考察 - 韓国の観光政策と日本の観光政策の比較 - |
| など   |

## 主な卒業論文のタイトル

今まで指導した卒業論文一例

- ・漂海民族バジャウ族の発展 サスティナブル・ツーリズムから見たセブ島に住むバジャウ族の変化
- ・SNSによる新しい旅の形 マンホールの蓋が生み出す観光の力
- ・三重伊賀市における伊賀流忍者の観光の位置づけ
- ・訪日中国人観光客の消費動機の変化と今後のインバウンド観光について
- ・激動の観光業界がもたらす共有経済 - 共有経済の核Airbnbの研究を中心に -
- ・2.5次元演劇のコンテンツ・ツーリズム化について - 2.5次元演劇のツーリズムにおける立ち位置 -
- ・観光におけるSNSマーケティングの重要性 - 心理学的観点から見る「インスタ映え」の現実
- ・訪日外国人観光客と日本人から親しまれるゲストハウスの提案 - 自身の夢をゲストハウスに託して -
- ・韓国観光政策に関する考察 - 韓国の観光政策と日本の観光政策の比較 -

など

## 趣味・特技

|                |
|----------------|
| 趣味・特技          |
| ステンドグラス製作、庭いじり |

|             |
|-------------|
| 所属          |
| 人間社会学部 観光学科 |

|  |
|--|
| 所属学会   |
| 日本観光研究学会（理事）<br>日本観光研究学会関西支部（幹事）<br>日本国際観光学会<br>国際観光医療学会（社員） |

|   |
|---|
| 専門分野  |
| 観光マネジメント、観光によるまちづくり、ニューツーリズム（スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム）、国際観光（インバウンド） |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 選考方法                                |
| ・面接を重視します。<br>・個別ガイダンスには必ず参加してください。 |

|  |
|--|
| 担当科目   |
| 企業論特別講義（サービス業）<br>リゾート論、地域・都市集客論、観光政策論、観光学原論、観光学へのいざない |

|  |
|--|
| 備考   |
| （土）（日）にプロジェクト活動をすることもあります（早目に予定します）し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。 |

|  |
|--|
| 評価方法                                     |
| ・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。 |

|  |
|--|
| 備考   |
| （土）（日）にプロジェクト活動をすることもあります（早目に予定します）し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。 |

|  |
|--|
| 評価方法                                     |
| ・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。 |